

創立130周年を迎えた女子国際教育のパイオニア



日本にしながら、授業はまるで現地校

東京女学館では「高い品性を備え、人と社会に貢献する女性の育成」を教育目標に掲げ、人としての品性を重んじながら、女子校の特性を活かしたインクルーシブリーダーシップの育成をします。国際学級では、世界に目を向けた教育を行い、異国文化に触れ世界に通用する英語力を磨きます。

- 帰国生と海外経験のない一般生が共に学べるクラスです
- 北米のLanguage Artsをもとにした独自のカリキュラムを週6時間、文法を週2時間実施
- グループワーク・プレゼンテーションなど欧米スタイルの授業（協働学習）
- 広い分野の文献を読むほか、エッセイ・ライティングの指導も行います

□国際学級入試について□ ※詳しくは、本校ホームページをご覧ください。

【2019年度中学校国際学級一般生入試】

試験日：2019年2月2日(土)午後 募集人員：20名 試験科目：国語・算数

【2019年度中学校国際学級編入学試験】

2019年度4月編入〔中2〕 試験日：2019年3月5日(火) 募集人員：若干名
2019年度9月編入〔中1・中2〕の実施は未定です。実施する場合には、
本校ホームページで2019年4月末頃にお知らせいたします。

【2020年度中学校国際学級帰国生入学試験】

試験日：未定(12月上～中旬) 募集人員：18名 試験科目：未定

【2019年度・2018年度中学校国際学級入試結果】

2019年度中学校国際学級帰国生入試 受験者数：56名 合格者数：42名
2018年度中学校国際学級帰国生入試 受験者数：36名 合格者数：29名
2018年度中学校国際学級一般生入試 受験者数：71名 合格者数：36名



東京女学館 中学校・高等学校

TOKYO JOGAKKAN MIDDLE SCHOOL & HIGH SCHOOL

〒150-0012 東京都渋谷区広尾3-7-16 Tel: +81-3-3400-0867 FAX: +81-3-3407-5995 <http://www.tjk.jp/mh/>

□国際学級の英語教育の根幹をなす“Language Arts”中3では英語劇『ロミオとジュリエット』を演じます

アメリカでは8年生から9年生の生徒は母国語の授業の中でシェイクスピアを扱います。本校の国際学級のカリキュラムは、アメリカの現地校のものを参考にしていて、英文のレベルやその内容を考えた上で、中3で『ロミオとジュリエット』を全員が出演する劇として扱っています。テーマ的にもちょうど同世代の若者のストーリーということで、生徒の心に響くものがあります。ある場面でジュリエットが下した決断が良かったのかどうかを考えたり、悲劇的な結末を迎えないような方法を考えたりすることは、豊かな心を育み、思考力を深めることにもつながります。



『ロミオとジュリエット』を通して生徒たちは何を学ぶのか

クラス全員が何かしらの役に付きます。しかし、クラス人数の約40ほどの役があるわけではなく、シーンごとにその役のキャストが変わることもあります。照明や音響、ディレクターも生徒の仕事ですが、彼女たちもどこかのシーンでキャストとして演じます。事前の準備の中で、配役をめぐるクラス内での衝突が起きたり、本番になって緊張でセリフが飛んでしまい、恥ずかしい思いをしたりすることもあるかもしれません。しかし、そういった困難を乗り越えたり、クラス内の仲間と支え合ったりしていく中で、「Inclusive Leadership」の精神を育んでいきます。まさに、「Inclusive Leadership」を体現する大きなプロジェクトと言えます。

□卒業生の声 ～新たな世界に果敢にチャレンジする～



第1期生 Y.K.さん

私は国際学級で国際貢献について多く学び、国際機関で働きたいと考え法的視点からの国際協力に興味をもつようになりました。早稲田大学法学部卒業後、早稲田大学のロースクールに進学。大学院でも、難民クリニックやJICAカンボジアへ行き、インターン取りました。昨年5月に提携校であるカリフォルニア大学ヘイスティング校を卒業し、LLMを取得してから日本に帰国しました。また今年3月に早稲田大学法務研究科を卒業し、現在司法試験に向けて勉強中です。

振り返ってみると東京女学館の教育目標『人と社会に貢献する女性の育成』に大きな影響を受けたことを実感しています。お陰でいつでも好奇心と意欲を持ってさまざまなことに果敢にチャレンジできています。国際学級では様々な国や文化に触

れて育った生徒さんが多く、多様な考えや経験を持った友達と6年間生活していくことで、考え方の幅や視野が大きく広がりました。私の学年では特に、「多様性」を受け入れることを皆が心がけ、大切に思っていました。法の目的のひとつとしてマイノリティーライツの保護がありますが、こうしたマイノリティーライツの保護をしたいと思います。背景には、間違いなく、国際学級で学んだ多様性を受け入れる精神が大きく影響しています。人格を形成し、進路を決定する大切な時期に、国際的な視野や自分なりの社会貢献のあり方を真剣に考えられたことは私の人生にとって大変貴重なことであつたと思っています。

国際学級 上位大学入学状況(現役生)

